

水道施設の役割おしえて!! 〈その2〉

水道管

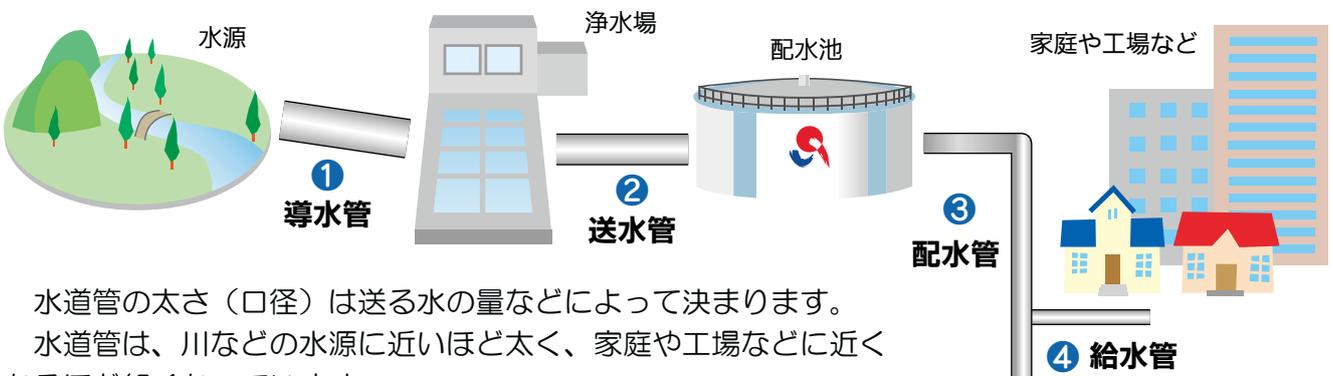
2回目は水道管を紹介します。

飲料水や炊事、洗濯、入浴など日々の生活に必要な水を、皆さまが生活・活動する場所へ送る配管をまとめて「水道管」といいます。

道路の下には、水道管が網の目のように埋設されていますが、これらの水道管は、その役割によって次のように異なる名称が用いられています。



- ① 導水管 川などの水源から浄水場までをつなぐ水道管で、浄水場に原水を送ります。
- ② 送水管 浄水場から水を貯める配水池までをつなぐ水道管で、浄水場で作ったきれいな水を配水池に送ります。
- ③ 配水管 配水池から家庭や工場などの給水管までをつなぐ水道管です。
- ④ 給水管 配水管から分岐して蛇口までをつなぐ水道管です。



水道管の太さ（口径）は送る水の量などによって決まります。水道管は、川などの水源に近いほど太く、家庭や工場などに近くなるほど細くなっています。

これらの導水管・送水管・配水管の長さを合計すると約2,200kmとなっていて、これは、いわき市から中国の北京までの直線距離とほぼ同じです。

市内にはこのように目に見えない水道管が縦横に張り巡らされているので、蛇口をひねると、いつでも、どこでも、きれいな水が出てくるのです。

水道局では、震災の経験を教訓として、災害時においても皆さまの生活に影響を及ぼすことがないように導水管、送水管や口径35cm以上の配水管を「基幹管路」と位置づけて耐震化を進めています。



水道水を安心してお使いいただくために

水道局では、安全でおいしい水道水を供給するため、常に水質検査を行っており、水質基準をみたしていることを確認していますが、次のことにご注意ください。

- 長期間水道水を使用しないときには、消毒効果が薄れる場合があります。
- 敷地内の水道管が鉛製のご家庭では、一時的に鉛がごくわずかですがとけ出すことがあります。

このため、朝一番に使う水や、旅行などで長期間留守にした後に最初に使う水は、念のためバケツ一杯程度（約10リットル）を洗濯や掃除など、飲用や調理以外に使うことをおすすめします。



○お問い合わせ 営業課給水装置係 TEL 22-9304

「おいしいな だしなお水」